

[結 果 の 概 要]

平成 14年 10月 1日 ~ 平成 15年 9月 30日の状況

- 利 用 さ れ る 方 へ -

1.調査方法について

人口は平成 12年国勢調査確定値を基礎として、これに住民基本台帳法及び外国人登録法に基づき各市町村に届出された出生・死亡・転入・転出等の数を加減して推計したものです。
また、世帯数は住民基本台帳及び外国人登録によります。

2.県内移動者数について

県内の市町村間における転入・転出は、その届出時期が異なるため、時間的ずれを生じ、同一期間中の転入者と転出者が一致しません。従って、県内移動者数については、転入届を用いて算出しています。

3.出生・死亡者数について

本調査では、出生日・死亡日等にかかわらず、各市町村の住民基本台帳に記載・削除された時点で出生・死亡者数をとらえています。(届出主義)

4.用語の説明について

自然増加率 = 自然増加数 ÷ 前年の人口 × 100

社会増加率 = 社会増加数 ÷ 前年の人口 × 100

県内(外)転入(出)者率 = 県内(外)転入(出)者 ÷ 前年の人口 × 100

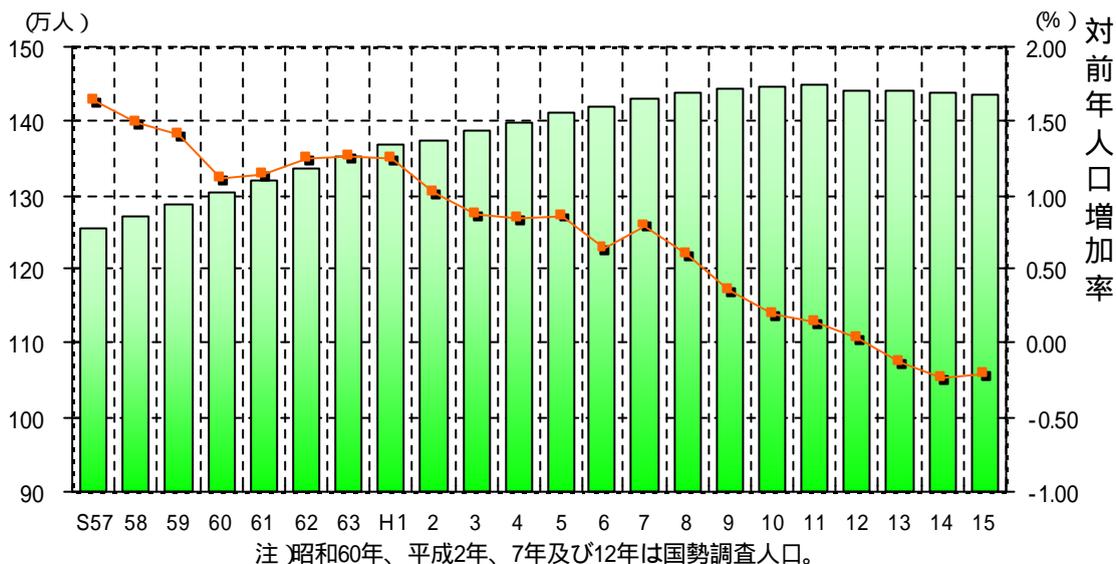
性比(女子 100人に対する男子の数) = 男子の人口 ÷ 女子の人口 × 100

1.人口総数

奈良県の人口は143万5千人

平成15年10月1日の本県の人口は1,434,576人で全国総人口の約1.1%を占めている。大正9年の第一回国勢調査の人口は564,607人であり約80年間で約2.5倍となった。

図1. 毎年10月1日の人口及び人口増加率の推移



市部人口は全体の72.4%を占める

人口の分布状況を市部・郡部別に見ると、市部が1,039,095人、郡部が395,481人で、市部が全体の72.4%を占めている。

市町村別人口規模が大きいのは、奈良市、橿原市、生駒市の順となり、逆に小さいのは、野迫川村、大塔村、上北山村の順となっている。

表1. 人口規模の市町村順位

順位	大きい市町村			小さい市町村		
	市町村名	人口(人)	構成比%	市町村名	人口(人)	構成比%
1	奈良市	365,075	25.45	野迫川村	770	0.05
2	橿原市	125,581	8.75	大塔村	781	0.05
3	生駒市	112,889	7.87	上北山村	866	0.06
4	大和郡山市	93,325	6.51	黒滝村	1,114	0.08
5	天理市	72,024	5.02	下北山村	1,243	0.09

2.人口動態

1年間の人口増加数は、 3,035人、増加率は 0.21%

平成14年10月1日からの1年間の人口動態を見ると、3,035人の減少、増加率は0.21%と前年の0.23%とほぼ同じような状況となった。

なお、自然増加率は前年を0.06ポイント下回る0.09%に、社会増加率は前年を0.08ポイント上回る0.29%となった。また、外国人増加数は前年の78人から75人となった。

人口動態を月別に見ると、自然増加は平成14年10月の308人が最高であり社会増加は人移動時期である平成15年4月以外はすべて減少となっている。

増加数	3,035人
— 自然増加	1,252人
出生	12,259人
死亡	11,007人
— 社会増加	4,212人
転入	32,464人
転出	36,676人
— 外国人増加	75人

表2.人口動態

(単位:人)

年次	人口	対前年増加数		自然増加		社会増加		外国人増加
			率%		率%		率%	
平成2年	1,375,481	5,346	0.39	4,271	0.31	9,295	0.68	427
平成3年	1,387,442	11,961	0.87	4,192	0.30	7,067	0.51	702
平成4年	1,399,276	11,834	0.85	3,956	0.29	7,296	0.53	582
平成5年	1,411,258	11,982	0.86	3,721	0.27	7,994	0.57	267
平成6年	1,420,196	8,938	0.63	3,833	0.27	5,030	0.36	75
平成7年	1,430,862	10,666	0.75	3,561	0.25	7,546	0.53	219
平成8年	1,439,252	8,390	0.59	3,742	0.26	4,480	0.31	168
平成9年	1,444,340	5,088	0.35	3,432	0.24	1,547	0.11	109
平成10年	1,447,134	2,794	0.19	3,501	0.24	876	0.06	169
平成11年	1,449,138	2,004	0.14	2,725	0.19	630	0.04	91
平成12年	1,442,795	475	0.03	2,852	0.20	2,337	0.16	40
平成13年	1,440,920	1,875	0.13	2,590	0.18	4,969	0.34	504
平成14年	1,437,611	3,309	0.23	2,149	0.15	5,380	0.37	78
平成15年	1,434,576	3,035	0.21	1,252	0.09	4,212	0.29	75

平成12年の人口は平成12年国勢調査確定値であり、増加数と増加率とは関係しない。

表3 . 月別人口動態

(単位 :人)

年 月	増加総数	自然動態			社会動態			外国人 増加
		出生	死亡	自然増加	転入	転出	社会増加	
平成14年10月	261	1,141	833	308	2,431	2,466	35	12
11月	101	959	921	38	1,940	2,072	132	7
12月	138	967	957	10	2,053	2,135	82	66
平成15年 1月	558	1,115	1,269	154	1,838	2,246	408	4
2月	1,159	917	997	80	2,010	3,008	998	81
3月	2,771	975	985	10	4,995	7,819	2,824	63
4月	1,890	984	879	105	6,102	4,424	1,678	107
5月	123	1,049	874	175	2,464	2,526	62	10
6月	6	1,003	806	197	2,023	2,238	215	12
7月	204	1,137	831	306	2,237	2,721	484	26
8月	23	1,028	825	203	2,225	2,439	214	12
9月	349	984	830	154	2,146	2,582	436	67
計	3,035	12,259	11,007	1,252	32,464	36,676	4,212	75

図2 . 月別自然動態

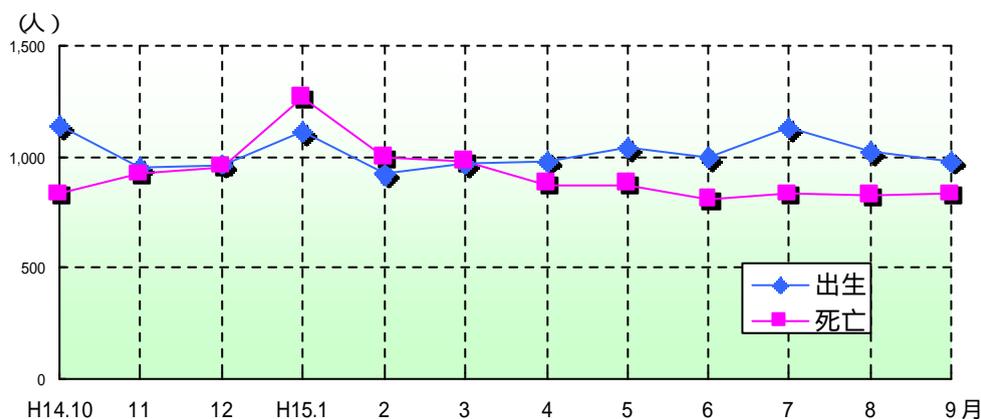
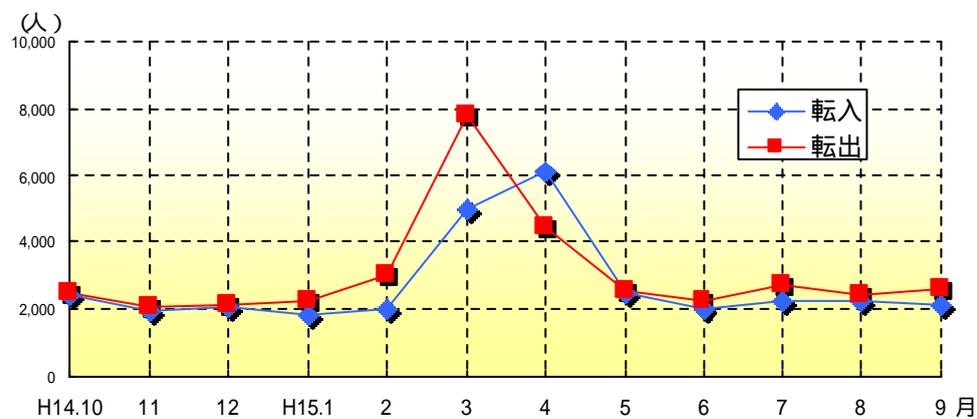


図3 . 月别社会動態



人口増加数は香芝市が最多で1,833人

この1年間で人口が増加したのは2市5町1村、減少したのは8市15町16村であった。

1年間の人口減少数3,035人のうち、市郡階級に見ると、市部が832人の減少、郡部2,203人の減少となった。

また、市町村別にみると、増加数の多いのは香芝市、広陵町、上牧町、減少数の多いのは大和高田市、御所市、五條市の順になっている。

表4．人口増加数の市町村順位

順位	多い市町村		少ない市町村	
	市町村名	増加数(人)	市町村名	増加数(人)
1	香芝市	1,833	大和高田市	878
2	広陵町	284	御所市	449
3	上牧町	66	五條市	392
4	奈良市	59	桜井市	361
5	新庄町	55	吉野町	305

人口増加率は香芝市が最高で2.74%

市町村別の人口増加率は香芝市が最も高く、2.74%であった。

次いで広陵町0.90%、野迫川村0.39%となった。

逆に、増加率が最も低いのが川上村 3.67%で、次いで吉野町 2.80%、天川村 2.70%の順になっている。

図4．市町村別人口増加率

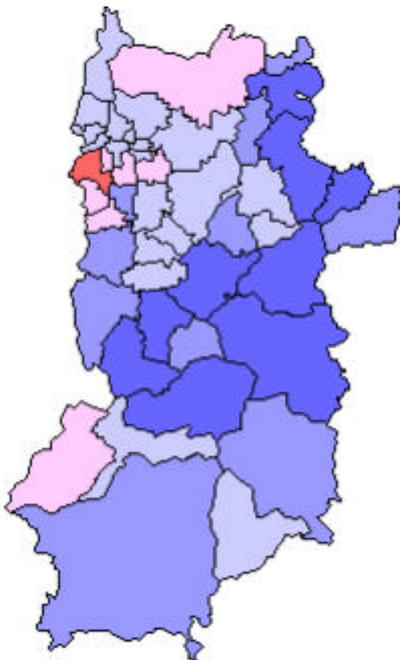


表5．人口増加率の市町村順位

順位	高い市町村		低い市町村	
	市町村名	増加率(%)	市町村名	増加率(%)
1	香芝市	2.74	川上村	3.67
2	広陵町	0.90	吉野町	2.80
3	野迫川村	0.39	天川村	2.70
4	新庄町	0.28	西吉野村	2.62
5	上牧町	0.27	東吉野村	2.48



3.人口密度

県人口密度は 388.7人/Km²

平成 15年 10月 1日現在の本県の人口密度(1平方キロメートル当たり人口)は 388.7人であった。市・郡部別では、市部が 1,437.9人、郡部が 133.2人となっている。

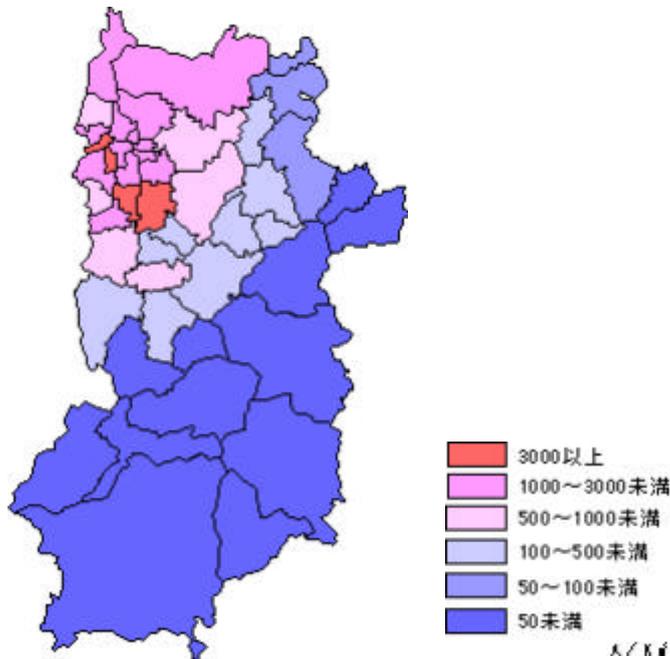
次に市町村別の人口密度をみると、最も高いのが大和高田市の 4,368.0人で、次いで上牧町、王寺町の順になっている。

また、最も低いのは上北山村の 3.2人で、最も高い大和高田市の 1,365分の 1 になっている。

表 6 . 人口密度市町村順位

順位	高い市町村		低い市町村	
	市町村名	人/km ²	市町村名	人/km ²
1	大和高田市	4,368.0	上北山村	3.2
2	上牧町	4,037.6	野迫川村	5.0
3	王寺町	3,321.4	十津川村	6.9
4	橿原市	3,177.7	大塔村	7.0
5	香芝市	2,832.1	川上村	8.5

図 5 . 市町村別人口密度



4.人口性比(女子100人に対する男子の数)

県人口の性比は91.38

本県の男女別人口は、男子684,973人、女子749,603人で、女子の方が64,630人多く、人口性比は91.38であった。

人口性比の推移をみると、第1回国勢調査のあった大正9年から昭和10年にかけて、全国では100を超えていたが、昭和15年国勢調査以降は100を割っている。本県は一貫して100未満であり、女子の人口の方が男子より多い。

また、市町村別にみると、野田村が最も高く109.24で、十津川村102.08、川上村101.23と続きこの3村のみ100を超えている。一方、最も低いのは室生村の87.00となっている。

5.世帯

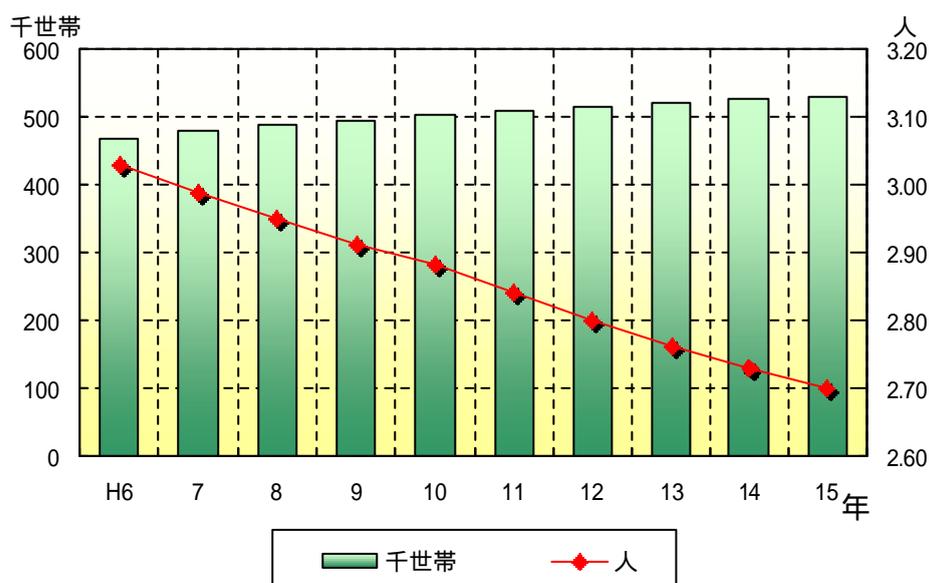
本県の世帯数は53万1千世帯、1世帯当たりの人員は2.70人

平成15年10月1日現在の、本県の住民基本台帳及び外国人登録による世帯数は、531,310世帯で、前年より4,837世帯、率にすると0.92%増加した。

また、1世帯当たりの人員は2.70人で前年より0.03人減少した。

1世帯当たりの人員を市町村別にみると、月ヶ瀬村の3.71人が最も多く、以下山添村3.53人、都祁村3.44人と続き、添上郡及び山辺郡で上位3位までを占め、逆に最も少ないのは、下北山村の1.83人で、以下上北山村2.10人、川上村2.16人、十津川村2.24人、東吉野村2.27人と吉野郡に集中している。

図6.世帯数・1世帯当たり人員の推移



6.人口移動(県外)

県外との移動者数は4,212人の転出超過

平成14年10月1日から1年間に県外から転入してきた人は32,464人、県外へ転出した人は36,676人であった。

奈良県では、昭和40年の奈良県推計人口調査が始まって以来転入超過が続き、平成10年に初めて転出超過に転じたが、平成15年も引き続いて4,212人の転出超過となった。

都道府県別では、大阪府の688人を最高に、12の府県からの転入超過となっており、京都府、東京都、三重県の順に、34の都道府県への転出超過となっている。

図7.本県と全国ブロック別移動状況

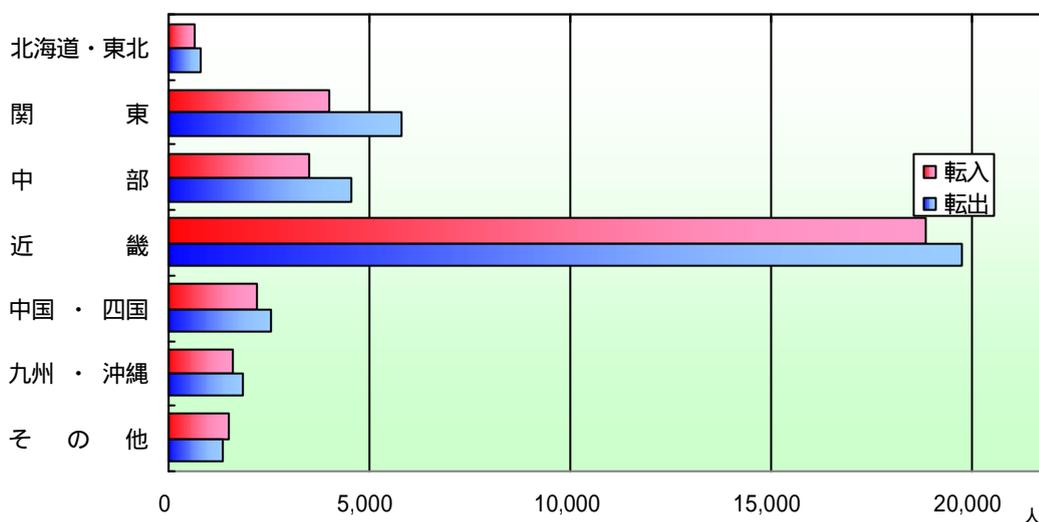


表7.本県と近畿5府県との移動状況

府 県 名	本県への転入		本県からの転出		転入超過数	
	人数	構成比%	人数	構成比%	人数	構成比%
滋 賀 県	586	3.1	750	3.8	164	17.4
京 都 府	2,807	14.9	3,840	19.4	1,033	109.3
大 阪 府	12,270	65.1	11,582	58.5	688	72.8
兵 庫 県	2,420	12.8	2,772	14.0	352	37.2
和 歌 山 県	765	4.1	849	4.3	84	8.9
計	18,848	100.0	19,793	100.0	945	100.0

7.人口移動(県内)

県内市町村間移動者数は24,668人

平成14年10月1日から1年間の県内市町村間の移動者数は24,668人で、前年と比べ117人減少した。

また、市町村間の転入転出者の状況をみると、転入超過は4市9町4村で、転出超過は6市11町13村であった。転入超過数及び転出超過数の主な状況は、次表のとおりである。

表8. 県内市町村間移動の状況

順位	多い市町村		少ない市町村	
	市町村名	増加数(人)	市町村名	増加数(人)
1	香芝市	649	大和高田市	457
2	奈良市	469	御所市	197
3	広陵町	127	生駒市	178
4	上牧町	100	桜井市	149
5	橿原市	92	吉野町	127

図8. 県内市町村間移動者の推移

